

## 平成22年度 学校評価(保護者アンケート)のまとめ

美咲町立旭小学校

<A:よくできている B:ふつう C:あまりできていない D:よくわからない>

【回収率 75/90=83%】

### アンケート結果

評 価 項 目		A	B	C	D
情報・地域連携	1 学校教育目標「やる気いっぱい 元気いっぱい 旭っ子」が達成できつつある。	7	56	6	6
	2 学校は、広報やホームページ等で教育活動等の情報を伝えている。	25	41	1	8
	3 「あゆみ」は、子どもの学習の様子や生活態度についてわかりやすく表現されている。	35	35	4	0
	4 学習内容や子どもの様子などを懇談や通信でよく知ることができる。	41	32	2	0
	5 学校は保護者・地域の願いを聞こうとしている。	19	41	8	7
	6 学校は、PTAと連携して、児童の課題に取り組んでいる。	17	46	4	8
	7 学校は、支援ボランティアを生かして教育活動を充実させている。	25	39	5	6
自ら学ぶ 考える	8 子どもは、学校に楽しく通っている。	47	23	2	0
	9 子どもは、読み・書き・計算などの基礎学力が身につけている。	22	48	4	1
	10 子どもは、授業がわかると言っている。	20	48	6	1
	11 子どもは、家庭学習にすすんで取り組んでいる。	17	39	17	2
	12 子どもは、家庭ですすんで読書をしている。	12	27	33	3
	13 子どもは、学校からの配布物をきちんと渡すことができている。	39	23	11	2
か か 人 わ と る	14 子どもは、あいさつをしようと努めている。(はい、ありがとう、ごめんなさいを含む)	21	34	20	0
	15 子どもは、人の話を聴くことができる。	11	52	11	1
	16 子どもは、相手の気持ちを気遣い、思いやる心が育ってきている。	16	45	12	2
づ く り 力	17 子どもは、外で友だちとよく遊んでいると言っている。	38	25	9	3
	18 子どもは、目標をもって、体力作りに励んでいる。	23	33	15	4
・ 危 機 管 理 指 導	19 学校は、施設設備・登下校の安全などの事故防止に配慮している。	19	43	4	8
	20 学校は、連絡したことや相談事などに適切に対応している。	29	40	0	6
	21 学校は、子どもや家庭のことについてプライバシーを守っている。	25	37	3	10
	22 学校は、子どもの間違った行動等を適切に指導している。	21	41	3	10

## 23年度に向けて（アンケート結果の考察）

評価の項目の中で、昨年度と同じものを比較してみると、多くの項目で昨年度より高い評価をいただくことができました。今年度、学校が努力してきたことを認めていただくことができ、嬉しい結果になっています。

特に、「子どもは、学校に楽しく通っている。」という質問では7割近くの保護者の方が「そう思う。」と回答いただきました。児童のアンケートでも「学校は楽しい。」という問いには8割の児童が「はい」と答えています。学習がわかること、友達がいることなど学校生活の基盤となるところがおおむね満たされているようです。

また、「学習内容や子どもの様子などを懇談や通信でよく知ることができる。」という項目も高い評価をいただいています。懇談や通信を通して担任の思いを受け止めていただいていると感じています。

★以下気になる点を3つあげてみました。

### ①読書について

子どもたちは家庭で進んで読書をしている



#### ご意見から

- ・読書週間は親がサポートして読んでいるが、ふだんは自分から取り組んでいない。
- ・本は借りてくるが自分では読まない。いっしょだと読む。
- ・読書や家庭学習の時間はあまりすすんでしません。周りの友達の影響を受け、進んでしてほしいです。

「読書」に関しての項目では、児童も保護者も「あまりできていない」という結果になりました。この質問は、来年度から始まる新学習指導要領で『言語活動』が重視されていることを考慮して、今年度新しく設けてみました。

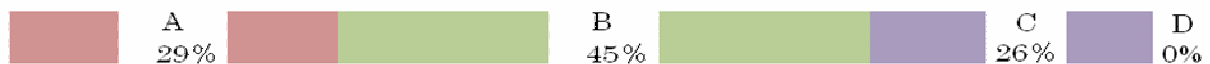
今年度は、10分間の朝のステップ学習の時間をすべて読書に充てています。また、ボランティアの方に読み聞かせをしていただき、いろいろな本を紹介してもらう機会も持っています。しかし、学力テストのアンケートなどをみると、旭小学校の児童は全国平均と比べて「あまり読書をしていない。」という結果がでています。読書は、情緒形成や言葉の理解力、自分の考え方を言葉として表現するのにも役立つといわれ、言葉の習得にとってとても大切なものです。この結果を受け止めて、来年度は、さらに読書の習慣を児童につけさせることに重点をおき、教科学習の中で、児童への興味付けをするとともに「旭小学校のすすめる100冊図書」などの見直しや活用に取り組みたいと思います。ご家庭でも、「家庭読書週間」などをきっかけに一緒に本を読んでくださったり、環境を整えてやってくださったりしていただくとありがたいです。

## ②あいさつについて

「やる気いっぱい 元気いっぱい旭っ子」が達成できつつある



子どもはあいさつをしようと努めている



### ご意見から

- ・元気いっぱいの中に入るのかわかりませんが、もう少し、あいさつが出来たらいいかなと思いました。
- ・あいさつができていない。また、するという事はどういう事か。高学年から進んで取り組めるように下級生の手本となってほしい。
- ・あいさつ運動とは名ばかりであいさつができていない。子どもが学級単位で目標を決めて少しずつできるよう子ども主体で取り組めばいいのでは、目標がどれ位出来たかを月単位で反省し、次の目標を考えれば、子ども自身にやる気が出るのではないのでしょうか？

「子どもはあいさつをしようと努めている。」の項目も低い数値でした。児童のアンケートでも、「進んであいさつをしようと努めた。」で「できた」と回答する児童は3割程度でした。

学校では、毎朝の5,6年生による「あいさつ運動」を継続して行っています。また、今年度は「全校朝遊び」を行い、心身ともに目覚めさせ、気持ちのよいあいさつもできるようにと試みました。それでも、なかなか定着できていないのが実際です。来年度は、再度、「あいさつ運動」のやり方を見直していきます。また、あいさつは学校だけでは身につかないものです。家庭、地域の方々にもご協力いただき、ともに、「気持ちのよいあいさつ」が定着できるようがんばりたいです。

## ③家庭学習について

子どもは家庭学習に進んで取り組んでいる



### ご意見から

- ・言わないと音読はしない。(児童館でプリントなどはして帰ってくるのでとても助かる。)
- ・学校ではわからないが、家ではこちらから配布物や宿題をすすめないと自分からはできない。

「家庭学習に進んで取り組んでいる。」の質問も結果が気になります。宿題はほとんどの児童ができてきているようですが、進んで取り組んだり、自分のためという意識でしたりする児童は少ないようです。昨年度から取り組んでいる旭中学校との「小中一貫教育」の研究の中でも「家庭学習」は話題にのぼり、小学校中学校が互いに課題としてとらえていることがわかりました。小中で情報交換をし、方法やねらいを統一していくことで、定着を図りたいと思っています。来年度はさらに、家庭学習を生かした授業のあり方等を研究し、具体的な家庭学習の方法を検討していく予定です。

### ★その他のご意見の中から…

・子どもの数も減っているし、地区役員なども毎年のようにするようになってしまうので地区役員をなくすとか、役員数を減らしてほしい。

○PTA 組織の課題ですので、PTA 役員の方にお伝えします。いっしょに考えていきましょう。

・よくわからないことが多いため、C の評価になりました。子どもにも声かけをしてできることを少しでも私も努力したいです。

○アンケートを通して、今一度お子さんに目を向けていただけたことと思い、大変ありがたいと思います。

・ボランティアの方々に頼りすぎている感じがあります。逆に先生方がボランティアの方に遠慮してしまう事はないでしょうか？例えば、子どもたちもすぐ聞ける一方、甘えや他人任せな考えもないことはないと思います。大変助かるし、ありがたいですが、環境がよすぎることも一つの意見としてあります。

○学校支援ボランティアも今年で3年目になりました。子どもたちとボランティアの方々、そして教師との関わり方が少しずつ見えてきたかなと感じているところです。教職員とボランティアの方々が話し合う機会を持ち、課題を見つけあってもいます。いただいたご意見を参考に、来年度も子どもたちにとってよりよいあり方をさぐっていきます。

・「あゆみ」をカラーにしてほしい。写真が見にくい。

○「あゆみ」は通知表です。特にカラーにする必要はないかと思います。通信には写真をよく載せていますが、経費の都合で、白黒印刷にしています。少し見えにくくなりますが、ご了承ください。